

Liaison Office Report Vol.16

普段執務を行う中で、最高裁のホームページを見ることはあっても、英語版のページを見たことはないという方も多いのではないでしょうか。しかし、本年4月から7月までの間のページビュー数は合計約14万件*に達するなど、実際には、多くの利用者がアクセスしています。本期では、渉外連絡室が編集している最高裁ホームページ（英語版）のコンテンツを紹介します。

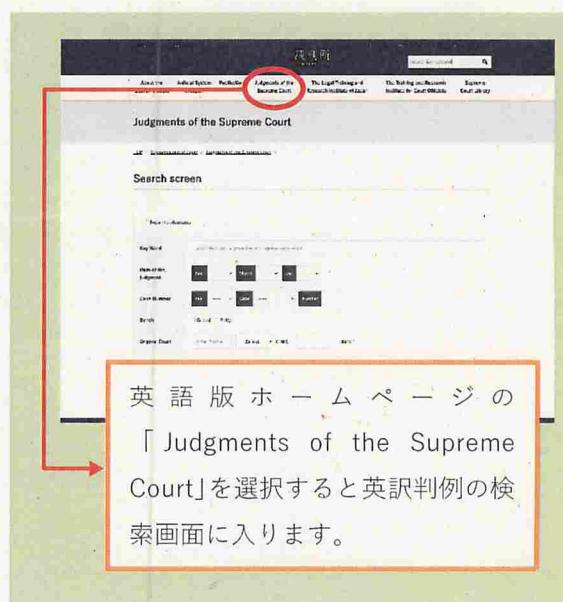


英訳判例の紹介

渉外連絡室では、社会の国際化が進展する中、より利用しやすい司法制度の構築を目指して、日本の最高裁判例を英訳し、ホームページに掲載しています。これまでに掲載した英訳判例は、1600件を超え、平成期の民集・刑集掲載判例の英訳は間もなく完了します。

英訳判例の一部は、欧州人権裁判所に情報提供もしております、同裁判所長官が最高裁の判例を参照しているといったエピソードもあります。

今後も、重要な判例については、引き続き英訳作業を行い、ホームページで公開していきます。



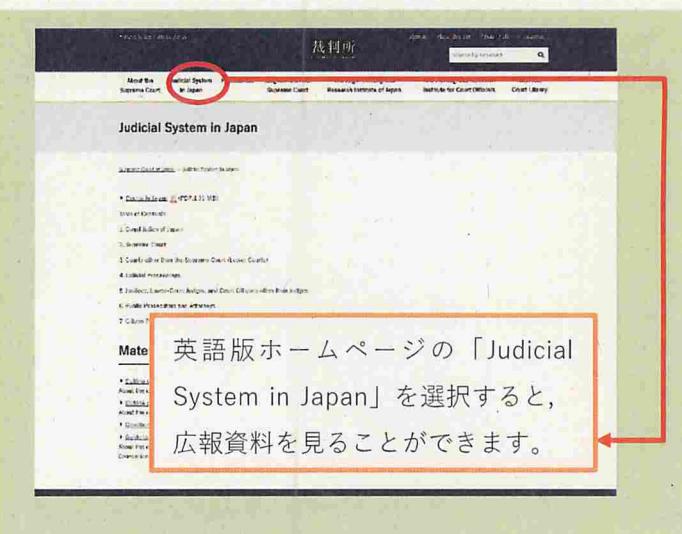
*英訳判例の検索ページ (Judgments of the Supreme Court) を除く。

英語広報資料の紹介

涉外連絡室では、判例だけではなく、日本の司法制度や裁判手続も世界に向けて発信しています。具体的には、『Courts in Japan』(英文「日本の裁判所」),『Outline of Civil Procedure in Japan』(英文「日本の民事手続概要」),『Outline of Criminal Justice in Japan』(英文「日本の刑事司法概要」)及び『Guide to the Family Court of Japan』(英文「日本の家庭裁判所案内」)の各英語広報資料を、ホームページで公開しています。

これらの資料については、定期的に改訂を行い、最新の情報を提供できるようにしています。

現在、『Outline of Criminal Justice in Japan』及び『Guide to the Family Court of Japan』の改訂作業を行っており、来年春に、改訂版を掲載することを目指しています。



その他のコンテンツ

英語版ホームページでは、このほかにも司法研修所や裁判所職員総合研修所の紹介をしているほか、外国法曹が最高裁判事に表敬した際には、「Topics」においてその様子を紹介するなどして、海外との司法交流も広報しています。このように、日本語版のホームページにはない見どころもありますので、ぜひ一度、英語版ホームページも訪れてみてください。

The image contains two screenshots of the English version of the Supreme Court of Japan website. The left screenshot shows the 'Topics' section of the 'About the Supreme Court' tab. A red box highlights the 'Topics' link in the navigation bar, and another red box highlights the list of topics below it. A callout box points to this area with the text: '英語版ホームページの「About the Supreme Court」のタブから「Topics」を選択すると過去の履歴をみることができます。' (By selecting the 'Topics' under the 'About the Supreme Court' tab on the English version of the homepage, you can view the past history). The right screenshot shows a news article titled 'Chief Justice of Canada Visits the Supreme Court of Japan'. It features a photo of three people in formal attire standing together. A callout box points to this area with the text: '外国法曹の最高裁訪問の例（カナダ最高裁長官の最高裁訪問 R1.10.21）' (Example of a foreign lawyer's Supreme Court visit (Visit of the Canadian Chief Justice R1.10.21)).

裁判官 YouTuber ? !



裁判官 YouTuber ? !

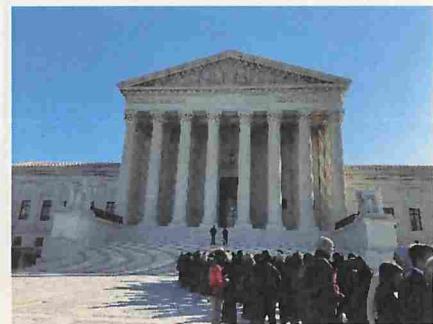
東京地方裁判所判事補 下山雄司

(令和元年度判事補海外留学研究員・ジョージ
ワシントン大学派遣)

アメリカ国民の裁判に対する関心は強く、ワシントンDCにある連邦最高裁判所には、多くの観光客や傍聴人が訪れ、弁論を見るために早朝から人々が列をなします。私の前に並んでいたのはシカゴから来たシステムエンジニアの方で、法律関係の職種に限らず、広くアメリカ国内から傍聴人が訪れていました。

そのようなアメリカでは、裁判所も国民に開かれた存在であることを強く意識しているからか、インターネットを通じて弁論の映像を配信したり、録音した音声を公開したりする裁判所があります。最近では、新型コロナウイルスの影響により、YouTube チャンネルを新たに開設し、ウェブ会議アプリによる審理の様子を配信する裁判所も現れました。

家で過ごす時間が増えた今こそ、外国の裁判の様子を覗いてみるのはいかがでしょうか。



米連邦最高裁前に並ぶ傍聴希望者